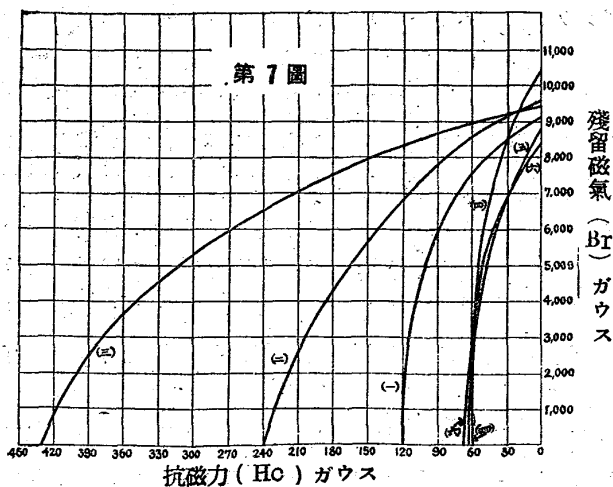


特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

**選鑛機** (7年特許公告 第1167號、公告7-3-23 東京府、日本興國發明研究所 内、中紫末純、川勝作太郎) 古來より重寶視せられつゝある所謂手法 カサガケ又は梳淘りの微妙なる淘汰法を最も簡単に機械化して上部より流下する鑛泥に逐次前記の運動を附與し鑛泥に含有する金粒子を可及的多量且迅速に張床内に集收して其選鑛を完成せんとするの目的を以て、機の中央部に遊架せる縦軸の頂部に之と交叉して傾斜軸を遊架し其頂部に薄き金屬板より成る第一淘汰盤を裝置して廻轉偏倚運動を行はしめ其下方に於て直徑大なる第二淘汰盤を裝置して之が底部に自由接手を設け該盤を任意の角度に調節し得べき傾斜盤上に坐載せしめて該傾斜盤の廻轉に應じて之に所謂首振運動を行はしめ更に其下方に於て第3淘汰盤を裝置し之に連続衝擊を興へ而して之等各盤の運動は前記縦軸より同時に傳動し得べからしめ各盤には粗糞なる多數纖維製又は無數の空虛陷穿を有する海綿體質の薄き張床を裝備し鑛泥中に於ける金粒の捕捉を完全ならしめたる金鑛選鑛機の機構、

**ニッケル及アルミニウムを含む磁石鋼** (7年 特許公告 第1174號、公告7-3-28、東京府、三島徳七)、鑄造後焼入を施す事無く且熱變化機械的衝動等により殆んど影響せらるゝことなく高磁力を保有する磁石鋼を経済的に得んとする目的を以て、Ni 5~40% Al 1~20% 殘部 Fe の成分を含有する Ni 及 Al を含む磁石鋼、附記、C 1.5% 以下又は之と少量の不純物とを含有する磁石鋼、

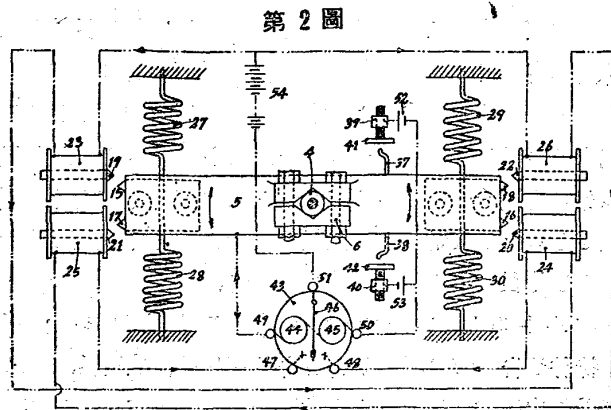
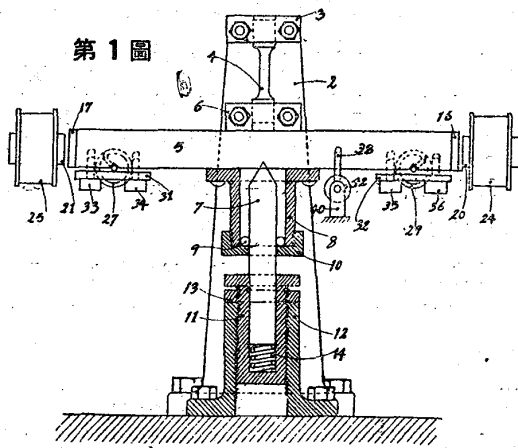


**同心二胴型捲胴** (7年 特許公告 第1214號、公告7-3-30、愛媛縣、住友別子鑛山株式會社)、從來の此の種捲揚機構に比し組立甚だ便利にして且著しく形態小な

る捲揚機構を得んとする 目的を以て、グラブ、スキップ 其他之に類するもの、捲揚機構に於て開閉用捲胴の端部を捲揚用捲胴中に同心的に納め差動装置として フラネットギヤを前記開閉用捲胴中に設けたる 同心二胴型捲胴、

**石炭類を有用なる液體に變化する方法** (7年特許公告 第1245號、公告7-4-1、海軍大臣)、石炭を液狀を保てる水と共に豫め 100°C~350°C に加熱處理することにより H に対する反應性を著しく増大せしめ従つて石炭の液化を容易にし液體の收量を増加せしめんとする目的を以て、石炭類を飽和水蒸氣壓力下に液狀を保てる水と共に豫め 100~350°C 以下に加熱處理したる後水の全部又は大部分を分ち次に高温高壓下に H 又は H 含有瓦斯又は水素形成物質を以て處理することを特徴とする石炭類を有用なる液體に變化する方法

**繰返振試験機** (7年特許公告第1251號、公告7-4-1、東京府、木谷要一)、試験片の變化に起因する振幅の變化を少くして正確に試験すること且つ小電力によりて簡便に作動せしめ得る繰返し試験機を得んとする 目的を以て試験片の一端を固定すべき定置腕に相對して試験片の他端に取付けるべき慣性能率大なる 強磁性振動體を



設け其の中央部を軸棒にて支持する装置と該振動體を振動方向に束縛する發條と振動體の振動により開閉さるる電氣接點と振動體の對角線方向に固定され電氣接點を通し振動體によりて生ずる振動電流により勵磁さるる電磁石とを具へ振動體の自由振動により斷續せらるる電流により生ずる電磁力によりて同調的に振動體を共振せしめ試験片に繰返振を與ふるを特徴とする繰返振試験機、

**流体作動鑿岩機** (7年特許公告第1280號、公告7—4—4 米國、インガソルランド、コムパニー) 鑿岩機の筈内へ壓力流體を急速且有効に配給して鑿を衝打する撞錠啣子の作動を一層急速ならしむる目的を以て一の筈及其中に於ける撞錠啣子辦室及送給通路を有する辦函該辦室より筈へ導かれたる送入通路該送給通路より該送入通路へ送らるる壓力流體の流れを制御すべき突縁を具へたる上記辦室内の辦、壓力流體の作用を受けて該辦を急動せしむる該辦に於ける抗壓面、間歇的に流體壓力に曝露せられて該辦を極端位置に保持面を組合せたるものに於て上記辦函と共動する突縁に他の送入通路よりも一の送入通路へ比較的多量の壓力流體を流入せしむべくせる手段を施したるを特徴とする流体作動鑿岩機、

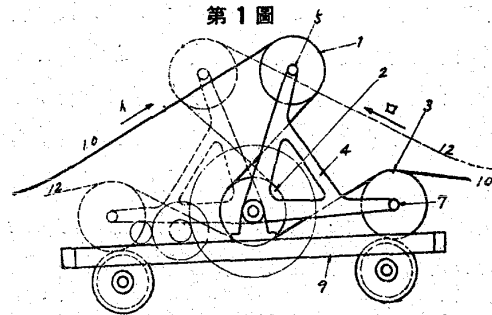
**工業用鑄造合金** (7年特許公告第1296號、公告7—4—6、東京府、株式會建築工藝研究所) 華麗なる色澤を有し鑄造性に富み質緻密にして表面平滑なる鑄造品を得べく而も建物用として充分なる強力及加工性を有する合金を得んとする目的を以て  $Cd$  10~25%、 $Zn$  5~15% 殘部  $Cu$  及不純物を含有する工業用鑄造合金、

**耐熱性永久磁石**、(7年特許公告第1310號、公告7—4—6、獨國、フェライニョーグテ、スタールウエルケアクテエンゲゼルシャフト)、最も有效なる耐熱磁石を得んとする目的を以て  $C$  を全然含有せざる或は 0.25% 以下の低  $C$  を含有せる時硬化性磁性合金を使用することを特徴とする耐熱性永久磁石、

**觸媒法に依る純硫酸の直接製造法**、(7年特許公告第1317號、東京府、東京硫酸株式會社)、純硫酸を極めて經濟的に且つ容易に直接製造せんとする目的を以て接觸室を出てたる  $SO_3$  混合瓦斯を水又は稀硫酸中に導入し或は其他の方法により水又は稀硫酸に接觸せしめ過剰水分の混入を防止しつゝ混合瓦斯中の  $SO_3$  を一旦乾燥状態の白煙状のモノハイドレート三酸化硫黄の形態に變化せしめたる後電氣收塵装置に依り之を捕集凝縮せしむることを特徴とする液状純硫酸製造法、

**ベルトコンベヤー用逆轉式ストリッパー**、(7年特許公告第1335號、公告7—4—8、愛媛縣、住友別子鑛山株式會社)、只1個のストリッパーに依りてベ

ルトの弛緩を殆ど生ぜしむることなくコンベヤーの運轉方向を反對にし得る如き簡便なる逆轉式トリッパーを得んとする目的を以て運轉方向を逆にし得べきベルトコンベヤーに装置するストリッパーに於て3個のドラムを1組のフレーム中に納め該フレームを第2のドラムの軸と同心



なる軸の周りに廻轉せしむることによりて第1第3のドラムの位置をし

てコンベヤーの左右兩方の運轉方向に適應せしむる如くせる逆轉式トリッパー、

**管内に於て流過物の旋回的流過を發生せしむる装置**、(7年特許公告第1338號、公告7—4—8、獨國、テオドル、ブラガード)、流過物の最大速度を管壁に静止渦流を生ぜしむることなくして轉移せしめんとする目的を以て轉向せしむべき物體の流過方向に對立する内部劃壁は管を斜截する橢圓形切斷面を成す平面より成り橢圓の短徑は管の内徑に等しく且その管内上の接點に引ける切線と  $90^\circ$  の角を成すことを特徴とする劃壁面内に存する管の橢圓形横斷面を單一部分だけ開放して管壁の彎曲せる内側面によりて流過物の旋回を惹起せしむべくなしたる管内に於て流過物の旋回的流過を發生せしむる装置、

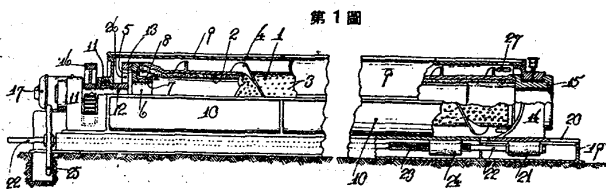
**粉狀物焼成用圓筒形電氣爐**、(7年特許公告第1366號、公告7—4—11、瑞西、アクテエンゲセルシャト・ブラウン、ボベリー、ウンド、コムパニー) 真空中に於て粉狀物の焼成を有利に行ひ得べき電氣爐を得んとする目的を以て移動臺は連鎖狀をなして相抱合する鎖片より成り各鎖片密閉したる底面を作り且エンドレス帶となりて爐の兩端にある輸送轉子上に水平に導かれ又互に反對方向に移動する2つの連鎖狀移動臺の上面に各爐端にある装入装置より處理すべき原料を移入しその反對側に於ける排出は輸送轉子上を動く移動臺の傾斜によりて行はるゝ如くなしたることを特徴とする抵抗體及移動臺を有する粉狀物焼成用圓筒形電氣爐、

**電熱反應を促進する方法** (7年特許公告第1371號、公告7—4—11、米國、ブツフアロー、エレクトリック、ファーンエース、コーポレーション)、電弧より發生する最高溫度を利用して反應を促進せしめ同時に從來使用せられざりし廢棄物質を處理して其製造効率を高めんとす

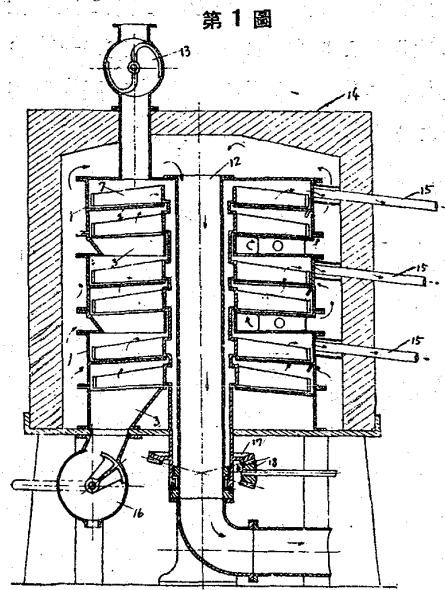
る目的を以て物質の粒子を均密に混合し之を水平又は稍傾斜したる内腔電極の一端より壓入せしめ而して該電極の中央部の高温度に保持して該電極内に於ける前記粒子の反應を進行せしめ而も該固形粒狀物質を電極の内孔を通じて供給すべき壓力の割合は物質を反應せしめて之を液體又は半熔融狀態たらしむる程度となし而して斯る反應は該物質が電弧に到達する以前に於て實質的に完結すべからしめ仍て其の反應に依る生成物を電弧の箇所にて固體又は液體生成物として電弧の下方なる爐内に落下排出せしめ斯して得たる反應生成物を爐より取出さしむる以上の工程より成る固體粉末性を有する多數の電氣的反應物質の高温度に於ける反應促進法、

**銅の處理法の改良** (7年特許公告第1372號、公告7-4-11、米國、ウエスタン、エレクトリック、コムパニー) 高導磁率材料を以て裝荷したる銅線を普通の方式に於て又は還元氣體中に於て熱處理を行ふも銅の展性及其他の性質を喪失せざる如き銅を準備せんとする目的を以て銅を其の熔融點より僅かに低き温度に於て脱酸するために之を還元氣體中に於て加熱し其の容器は加熱により前記還元氣體を生ずるか又は還元狀態を發生せしむる物質の一種又は數種を容れたることを特徴とし之により其後更に銅を包圍する氣體の性質に注意することなく安全に加熱し得る銅を純良ならしむる銅の處理方法、

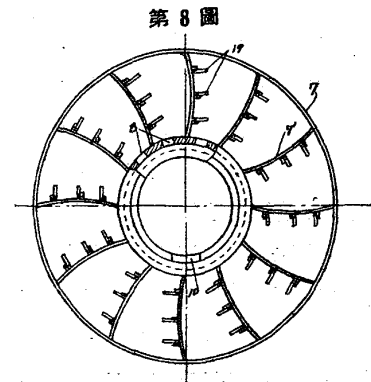
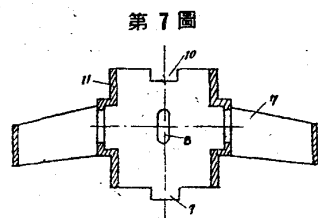
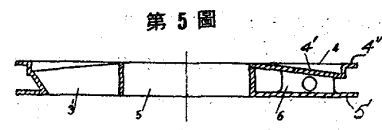
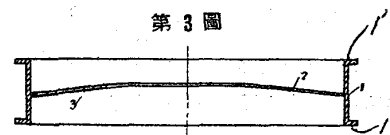
**遠心力鑄造装置**、(7年特許公告第1378號、公告7-4-11、大阪市、栗本勇之助) 型砂に密着せる熔鐵表面よりの排氣を促進し且熔鐵の内外面の冷却速度を均衡せしめて堅緻なる鑄鐵管を供給し得べき装置を得んとする目的を以て其の軸線の回りに急速に廻轉せしむべく原動機より聯結せしめられたる管型の全面に多數の氣孔を穿設し内面に型砂層を塗着せしめ外面に螺旋狀の送風翼を定着し且上記管型の外周を包圍して一端又は兩端に於て内部を外氣に連通せしむべき透孔を穿ちたる外殻を裝着して成る遠心力鑄造装置、



**縦型低温乾燥機** (7年特許公告第1395號、公告7-4-11、東京府、烏田金一外2名) レトルト内に供給せられたる石炭を絶えず轉動せしむることにより其の粘結を輕微ならしむると共に石炭の加熱せらるゝ状態を其の全表面に亘りて均一ならしめ以て得らるゝコークスの品質を均一ならしめ且乾燥室の面積を増大し以て乾燥容

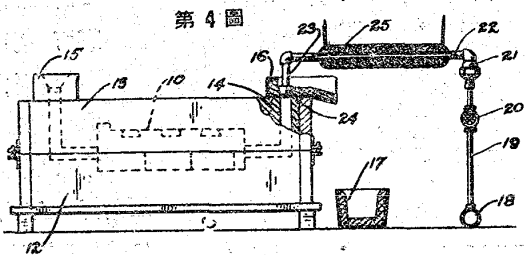
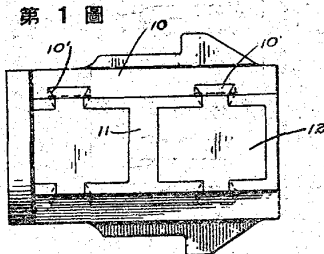


量を著しく大ならしむる目的を以てアンニユラー、レトルトを形成せしむべき筒部と臺部とを其の中心部に翼車を收容して交互に重合せ筒部間には断面ハ字狀の隔板を取付け之に落し口を穿設し臺部は短圓筒の上下兩端に輪縁を設け上端の輪縁を隔板と同一形狀と爲し之を以て上部室の底板とし下端の連結用輪縁を以て下部室の頂板を形成せしめ且上下兩輪縁を貫通して導管を設けたるものとなし翼車に於ては弧狀に彎曲せしめたる適宜數の翼を圓筒狀殼に取付け翼の下邊を隔板及底板の土面の形狀に對照して傾斜せしめたる石炭の縦型低温乾燥機、



**軸承鑄造方法** (7年特許公告第1402號、公告7-4-13、米國、カリフ、コーポレーション) 融解軸承金屬を注入する際軸承架構の内面に凝集せる濕氣に基因する小爆發を阻止し且軸承金屬と軸承架構との接着を堅牢にし以て鐵道設備其他の過重負荷に耐へ得る軸承鑄造方法を提供する目的を以て軸承金屬の裏裝を有する軸承の鑄造方法に於て軸承の架構を納めたる鑄型に放出孔より

還元瓦斯を流通し此瓦斯の流通を停止したる後に液體狀軸承金屬を鑄型の注入孔より排出口に至る方向に一定の時間流過せしめて架構の内面を軟化し兩金屬を堅密に銲着すべからしむることを特徴とする軸承鑄造方法、



**乾溜爐、**(7年特許公告 第1408號、公告7-4-13、佛國、リシエテ、ド、レシエルシユ、エ、ド、ペルフェクシヨヌマン、ザンデユストリエル) 石炭、褐炭、塊炭等の如き固形物質を低溫度にて乾溜すべき熱能率良く耐久なる優秀爐を提供する 目的を以て水平に配列したる數多の乾溜室と過熱器と連結管と必要ならば送風機と冷却機と油凝縮装置とを有し 石炭亞炭褐炭等の固形物質を納めたる容器を上記乾溜室の一室より他室へ順次移送すべくなし加熱用流體として各室の材料を順次横斷し内部加熱を行はしむる爲に閉鎖回路を使用し該回路の横斷面は其彎曲部に於て其直線部に於けるよりも少くとも2分の1は大なる如く構成したる石炭乾溜爐、

**鑄造用湯道煉瓦接續部の填隙材** (7年特許公告 第1412號、公告7-4-13、獨國、テオドル、ブリンクマン) 從來の斯種湯道の填隙を改良せんとする 目的を以て鑄造特に押揚鑄造法により、鋼塊、鋇用鋼塊或は其類似物を鑄造する場合に於ける個々の煉瓦を以て構成せらるゝ湯道接續部間に挿入して該接續部を填隙す可くせる金屬板製填隙材、

**金庫扉用材、**(7年特許公告第1417號、公告7-4-13、大阪市、株式會社住友製鋼所) 普通の工具又は瓦斯切斷器を以てすると破壊不可能にして外部よりの攻撃に對し堅牢無比なる金庫扉用材料を供給せんとする 目的を以て硬質合金例へば W 鐵合金又は W、Cr、Co、合金の如き硬度高く且一旦高溫度に加熱さるゝも軟化せざるものを層狀に或は適當なる間隔に點在する如く位置せしめたる鑄型中に耐熱合金を鑄込みて作りたるを 特長とす

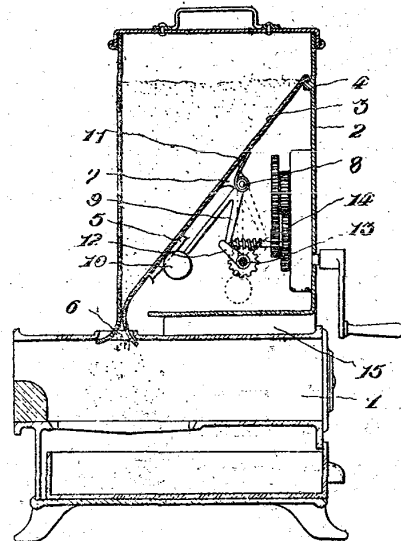
る金庫扉用材、

**遠心固形二酸化炭素製造方法、**(7年特許公告 第1442號、公告7-4-15、米國、ドライアイス、コーポレーション、オヴ、アメリカ) 遠心力を利用して商用に適する性状の固形に酸化炭素を得る 目的を以て壓力を三重點或は三重點以上に保持して 結晶二酸化炭素と液體二酸化炭素の混合物を形成すること該濕潤混合物に遠心力を作用せしむること及之れを乾燥せしむることを包含する固形二酸化炭素を固結せしむる方法、

**電氣爐** (7年特許公告 第1444號、公告7-4-15、新潟市、鐵甬司) 簡單なる装置を以て製造に際し生ずる酸化炭素瓦斯壓を高めずして化學作用を促進し且連續投入原料の豫熱を適切ならしめ同時に原料の飛散を防ぎ以て電力經濟を計らんとする目的を以て電爐内製品熔融線上の空間を縦壁を以て數箇に分割し交互に原料投入空間と排煙空間とを設けたる電氣爐、

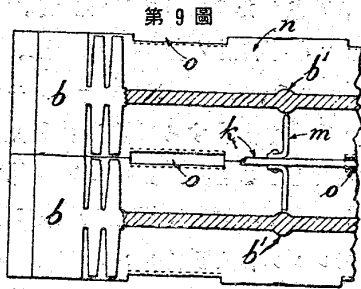
**アルミニウム又は其合金の着色被覆法** (7年特許公告 第1455號、公告7-4-15、大阪市、菅原善治) 耐蝕性に富む強固なる被覆を經濟的に得んとする 目的を以て Mo、酸又は Mo、酸鹽の稀薄水溶液に Ni、鹽、Zn 鹽、可溶性弗化物、硫酸アンモニヤ又は 硫酸加里及びブレンスを加へて成れる電解液を用ひ Al 又は其合金を陰極とし陽極には Zn 鋇或は Ni 鋇を接續して電流を通ずることよりなる Al 又は其合金の着色被覆法、

**微粉炭燃燒裝置** (7年特許公告 第1514號、公告7-4-20、函館市、秋津忠壽) 微粉炭の約一定量をば約一定時間に燃燒室に供給すべく簡易に構成せんとする 目的を以て收容筒に傾斜して裝備せる底板の下端縁を游離せしめ該底板には間歇的に衝擊を與へて其彈性を利用し底板の游離端と筒壁とす間隙より筒内微粉炭を燃燒室に供給すべくせる 微粉炭燃燒裝置、

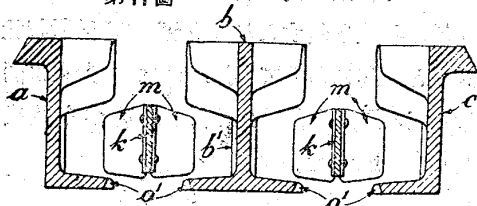


**瓦斯製生機に於ける火格子の改良、**(7年特許公告 第1530號、公告7-4-20、英國、チャールス、ホイットフィールド) 在來の方法の短所を除去せんとする目

的を以て火格子の下方に配置せる數多の空氣室を有し各



第 9 圖



第 11 圖

室は火格子の別れの區分の火格子孔を備へ各室は該火格子孔より遙に小なる固定せる寸法の空氣入口を有し而して空

氣供給に可成りの制限を構成する如くし且つ各室は入口に於て同一空氣供給壓力を有する瓦斯製生機の火格子、

**煉炭製造方法** (7年特許公告第 1537 號、公告 7—4—20、東京府、關廣次、澁谷興三郎) 分離困難視せられたる炭化燃料固有の不純物を除去し而して木炭に近き性質を有する無臭無煙にて燃燒をなす純良なる煉炭を結合劑を使用することなく低廉なる價に於て極めて合理的に構成せしめんとする目的を以て、石炭褐炭亞炭等の如き有煙燃料を鹽化加里水溶液を以て濕潤状態とし之を乾餾に附して一部熔融状態にある間に容器に收容し壓力を加へて固結せしむる煉炭製造方法、

**可燃瓦斯の製造と炭化水素油の分解とを同時に行ふ方法** (7年特許公告第 1540 號、公告 7—4—20、紐育市、アルバート、パーソンス、ザアクス) 反應溫度を常に一定に保ち從來よりも一層優秀なる此種燃料を一層歩留り良く生成せしめんとする目的を以て自熱せる石炭床又は炭素床に空氣と水蒸氣とを通し作用せしめて炭化水素油の分解溫度以上即ち華氏 900° 以上の溫度を有する可燃瓦斯を生成せしめ此瓦斯を反應帶に通し斯くて可燃瓦斯を製造すると同時に炭化水素油の分解を行ふ方法に於て分解すべき炭化水素油を反應帶以外の氣化帶に於て氣化せしめ氣化したる蒸氣を氣化せざりし液體より分離し之を反應帶に於て熱き可燃瓦斯と分解溫度以上の溫度を有する耐火材料の加熱面なくして混交し反應物質の溫度を調節して炭化水素蒸氣を大體一定條件の下に分解せしむる事を特徴とする方法、

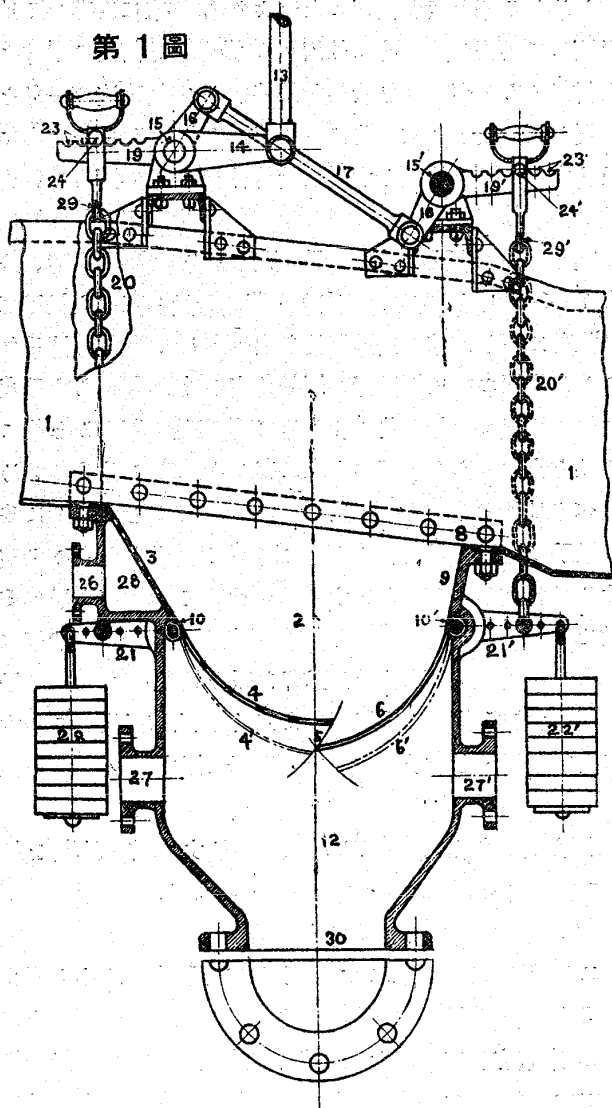
**頁岩油製造法**、(7年特許公告第 1552 號、公告 7—4—22、大阪市、河合幾次、外 2 名)、燃料を著しく節約し且つ頁岩細末の凝着を阻止し短時間に多量の頁岩油を經濟的に製造せんとする目的を以て水平線に對し傾斜

せしめたる廻轉式乾餾筒の上部より微細末に粉碎せる油母頁岩を供給し連續的に乾餾する場合に乾餾筒の下部より排出せらるべき加熱狀態を保持する乾餾殘渣の一部を逆戻し原料頁岩粉末と共に乾餾筒の上部より乾餾筒内に供給することを特徴とする連續的乾餾に依る頁岩油製造法。

**振子式材料試驗機**、(7年特許公告第 1557 號、公告 7—4—22、東京市、伊東久米藏) 計量の際は主振子杆の往動に對し何等の磨擦抵抗を與へずして計量を精確ならしめ復歸の際は振子杆の傾斜角度の如何に拘らず確實に無端鎖條の圓行と共動せしめて其正確を期すると共に緩急を自由ならしめ而かも常に正しく零位に停止せしめ得べく且鎖條を常に一定速度にて回轉せしむることに依て振子の力量を變更するも之に對して制動力を一々調整する必要なからしめんとする目的を以て上部振止子に連結せる紐條は横杆の一端と連結し該杆他端には振子杆に極着せる懸合爪に連結せる連杆を係合せしめ上部振止子を懸吊する帶狀は振子杆頭部に連結し此等兩條間に左右に摺動し得べき轉子を介入せしめ下部振止子の昇降に従ひ圓行する無端鎖條を配し振子杆が復歸するに當つては懸合爪を該鎖條と連繫せしめ復歸完了する時其連繫を解きて振子杆を自由振子となさしむへくしたる振子式材料試驗機、

**ニッケル・アルミニウム・クロム及コバルトを含む有する磁石鋼**、(7年特許公告第 1564 號、公告 7—4—22 東京府、三島徳七)、鑄造後焼入れを施す事無く甚だ高磁力を保有し加工容易なると共に防蝕性に富む磁石鋼を得んとする目的を以て Al、1~15%、Ni、5~30%、Cr、1~4.99%、Co 0.5~40%、殘部 Fe、を含有する磁石鋼、

**洗炭機** (7年特許公告第 1565 號、公告 7—4—22、北梅道、小林範二) 石炭と夾雜物とを完全に分離し而も從來の洗炭機に比して能率高く構造比較的簡單なる此種の裝置を得んとする目的を以て水平水流より原礦を流送分離する僅かに傾斜せる洗炭樋の所々に設けたる原礦の分類を行ふ洗別器内に相向つて位置を占め頂點を回轉軸となし弧狀に振動し其振動幅振動位置並に先端間隔か何れも自由に變更調整し得る有孔板製彎曲狀正副一對の跳汰瓣を設け下部か内方に傾斜せる兩側壁と之等跳汰瓣により洗別室を形成せしめ洗炭樋の水平水流及洗別器より流出する 2 種の上昇水流による分離作用と之れ等跳汰瓣の動作により跳汰分離作用とを併用して鐵石を撰別する裝置を施したる洗炭機。

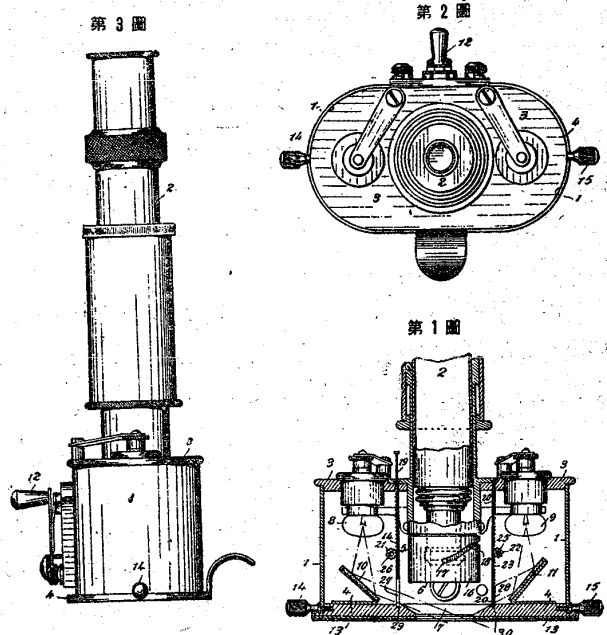


**廢重質機械油の再精裝置**、(7年特許公告 第 1592 號、公告 7—4—25、關東州、大連市、南滿洲鐵道株式會社) 原料廢重質機械油中に含有する アスファルト分及輕質油ガソリン等を簡單に除去分別し熱を損失すること少く經濟的にH.つ連續的に優良なる重質機械油を回收する目的を以て罐内を二重の劃壁にて同心環形に區分し3室となし内室を油加熱室又外室を蒸餾室とし斷面環状を呈する中間室には電熱裝置を備へて過熱蒸氣室とし油加熱室及蒸餾室に傳熱すると同時に 過熱水蒸氣を發生せしめ之を過熱蒸氣室の外壁即ち蒸餾室の内壁面を沿ふて薄層状態となり流下する油の對流的に接觸せしむる 蒸餾室と吸着劑混合槽とを濾過器を経て 連結し蒸餾用に供せる水蒸氣及餾出輕質油と原料油と熱交換すべく 構成せる廢重質機械油再精裝置。

**計溫器受熱裝置**、(7年特許公告 第 1599 號、公告 7—4—25、秋田縣、棚橋貞雄) 計溫器の感度を極めて鋭敏H.つ堅牢ならしめんとする目的を以て 計溫器受熱部

分の硝子層を微薄層となし硝子と類似の 膨脹係數を有する金屬層を以て密着圍包したる計溫器受熱裝置。

**顯微鏡の改良**、(7年特許公告 第 1613 號、公告 7—4—28、伊太利國、エチ、イー、ドクター、フェルナンド、ペレツツ) 畫の表面を調査するに當り 側射光線を畫面に銳角を以て投射せしむると共に其照度を 調節する事によりて畫面上の如何なる不同及突起をも正確に 検出せんとする目的を以てレンズ管と對物レンズの在る 端部を取圍み且つ検査すべき物體に向ふ孔を有する 外筒、上方の異なる側面より斜に物體を照らすための 光源及び 反射板並に光源と被照射體との間にありて 而も互に他の光束に關係なく斜射照明光束の通路を調節又は遮斷し得べく 構成せる遮斷壁とより成る顯微鏡。

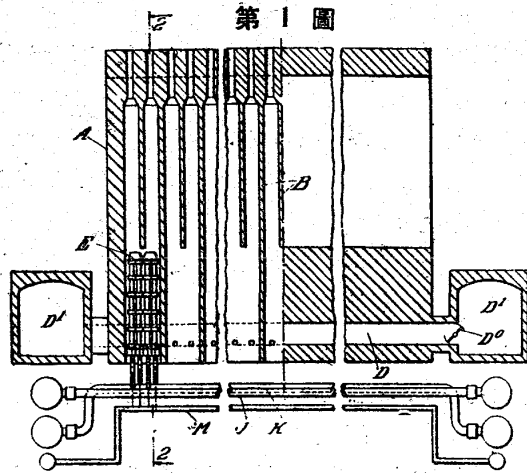


**洗炭法**、(7年特許公告 第 1621 號、公告 7—4—28、海軍大臣) 混在せる無機物質を含まざる 純粹なる石炭質を容易に且多量に回收せんとする目的を以て 石炭を其種類に應じて適當の大きに粉碎し之を石炭質の 眞比重より僅かに大なる比重を有する液體に混じて 懸浮せしめ高速度に回轉せる太鼓形容器に注入する時は 遠心力の作用により液體より比重大なる無機物質は器の 内側壁に集積し夾雜物なき石炭のみを懸浮の状態にて回轉せる 容器の取出口より排出せしむることを特徴とする洗炭法。

**爐** (7年特許公告 第 1628 號、公告 7—4—28、英國アーサー、マクドゥーガル、ダックハム、外 1 名) 高價にして而も複雑なる煙路の構造或は 火焰逆轉裝置を要することなく再生及回收熱法に伴ふ利點を 併せ有したる爐を得んとする目的を以て 爐構造より分離し得るが如く構成せる熱回收器を垂直煙路内に設け之を経て 煙路の底端



より流入せる加熱瓦斯が煙路上方に昇りたる後流向を轉換し同一煙路を下降し回収器の周圍を通過して其熱を回収器に與へたる後底端より流出すべくしたる爐。



**自動電弧溶接装置**、(7年特許公告第1652號、公告7-4-30、大阪市、濱野濱次)、繼電器と電磁石の關聯動作により給極回轉子と其支持する溶接電極とを共に引上げ引き下げしむる事により迅速に求むる溶接電弧を得せしめ且つ電弧の點滅状態により給極の遲速を知り調節に便ならしむるものにして電弧溶接進行中被溶接材に於ける溶接面の凹凸部に會ふ場に電弧距離の擴大短縮せられ溶接材棒と被溶接材とが離間又は接觸する場合は直ちに電弧距離は適切に調整し得る等の點よりして從來の如き電動機の逆廻轉又は電磁聯軸機等に依り電弧を發生せしむる方式のものに比し溶接作業を一層迅速確實ならしむる目的を以て溶接材棒を挾持する給極迴轉子の廻動により溶接材棒を溶接電弧に向つて絶へず供給すべく成したる電弧溶接機に繼電器と電磁石とを電路接続せしめて裝備し一方の電極をなす溶接材棒か他電極たる被溶接材と接觸したる時其繼電器と電磁石との關聯動作により給極迴轉子は溶接電極を支持したる儘にて引上げられ且つ其廻轉給極を停止し溶接材棒と被溶接材との間に求むる溶接に適切なる電弧を發生せしめ溶接材棒の溶融に伴ひ電弧電壓増加し或限度に達したる時再び繼電器の操作により給極迴轉子と共に溶接電極を降下し以て最初の求むる適切なる電弧電壓に復歸せしめ爾後廻轉給極作業を接続して自動的に溶接せしむべく成したる自動電弧溶接装置。

**アルミニウム或は其の合金上に着色腐蝕防止層を形成せしむる方法**、(7年特許公告第1659號、公告7-4-30、獨逸、シーメンスエレクトロオスモーゼ、ゲゼルシャフト、ミットベシユレンクテル、ハフツング) 多數の Al 或は其の合金上に一様に被覆し性質良好なる

着色保護層を連續的に形成せしめんとする目的を以て保護層を形成せしむべき未處理の Al 或は其の合金より成る物體を一方の電極とし其の對極としては同様に Al 或は其の合金より成るも電解的に酸化形成せられたる保護層を有する物體を使用し Cr 酸水溶液中にて交流を通ずることを特徴とする Al 或は合金上に着色腐蝕防止層を形成せしむる方法、

**鋇の歪取機**、(7年特許公告第1678號、公告7-4-30、獨逸、カール、フリードリヒ、アングレル)、從來の鋇の歪取用機に伴ひたる缺陷を省除し完全且つ迅速に鋇の歪を取り得る歪取機を得んとする目的を以て各歪取用輦子に沿ひて設置せられ其調節作動の量を異にして支持位置に來る可くされたる調節可能の支持装置により各歪取用輦子は被加工物に向ひて或は該被加工物より離去す可く彎曲せしめらる可く構成したるを特徴とする鋇の歪取機、

**特許明細書抜萃**

**過熱器或は之に類似せる装置用の機構用鋼**(特許第94753號、特許7-2-25、獨逸國、ヘルマンヨセフ、シツフレル)。

**鉛合金、又は之より作られたる製品の處理方法**、(特許第94818號、特許7-3-2、米國、インターナショナルスタンダードエレクトリック・コーポレーション)。

**溶接法**(特許第94846號、特許7-3-3、名古屋市石塚常忠)。

**金屬被着方法**(特許第94876號、特許7-3-8、東京市、芝浦製作所)。

**高クローム合金鋼の溶接處理法**(特許第94903號、特許7-3-8、東京府、渡邊三郎)。

**アルミニウム又は其の合金の部分的着色方法**(特許第94929號、特許7-3-10、東京市、理化學研究所)。

**合金の鑄造法**(特許第94931號、特許7-3-10、東京市、三菱造船株式會社)。

**電氣抵抗線用鐵合金**(特許第94932號、特許7-3-10、東京市、三菱造船株式會社)。

**混合微粉燃料の製造方法**(特許第94948號、特許7-3-12、東京市、日本産業株式會社)。

**金屬鑄塊を製造する方法**(特許第94973號、特許7-3-15、獨逸國、エルンスト、ロート)。

**鉛合金**(特許第94974號、特許7-3-15、東京市、古河電氣工業株式會社)。

**高硬度合金**(特許第94997號、特許7-3-15、仙臺市、金屬材料研究所長)。